

第2編 とりまとめ 本編

目 次

はじめに	1
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の設立趣旨	1
北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の概要	2
市民参画型道路計画の流れ	3
1. 豊岡道路アンケート調査結果	4
1-1 豊岡道路アンケート調査結果	4
2. 懇談会の議論の内容	9
2-1 但馬地域の交通における現状と課題	9
2-2 豊岡道路に求められる機能及び整備効果	17
2-3 豊岡道路の必要性	27
2-4 コウノトリに関する検討	39
2-5 景観の考え方	43
2-6 農業への配慮	44
2-7 コントロールポイントと配慮事項	45
2-8 概略ルート（推奨案）	55
2-9 「豊岡道路」懇談会での主な意見と対応	65
3. 配慮事項	66
3-1 豊岡道路計画における配慮事項	66
3-2 概略ルート（推奨案）の配慮事項	67
おわりに	68
今後の予定	68
あとがき	70
参考資料	73

はじめに

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の設立趣旨

北近畿豊岡自動車道は、豊岡市から丹波市の近畿自動車道敦賀線に至る延長約 70km の高規格幹線道路であり、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路、鳥取豊岡宮津自動車道と一体になってネットワークを形成し、但馬・丹波地域と京阪神都市圏との連携強化により、地域活性化に寄与する重要な道路である。

北近畿豊岡自動車道の北端部である「豊岡道路」については、早期計画決定を行い、北近畿豊岡自動車道の全線の早期完成を望む声が強くなっており、昨年 11 月に出された道路整備の中期計画（素案）^{※1}にも位置づけられた。

「豊岡道路」の道路計画の検討においては、「構想段階における市民参画型道路計画プロセスのガイドライン」（H17.9 国土交通省道路局）に基づき、計画プロセスの早い段階より市民参画型での検討を実施する。

実施にあたっては、市民などの意見を反映させ、学識者、市民代表、民間団体、兵庫県、豊岡市、及び事業予定者である国土交通省が参画し、北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会を設置して検討する。

懇談会では、「豊岡道路」アンケート結果など事業予定者からの資料をもとに、よりよい「豊岡道路」の計画づくりをめざすものである。

※1 「道路整備の中期計画（素案）」は、平成 20 年 5 月 13 日に閣議決定された、「道路特定財源等に関する基本方針」において、「道路の中期計画は 5 年とし、最新の需要推計などを基礎に、新たな整備計画を策定する。」とされ、現在策定中。

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会の概要

(北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会規約より)

目的：学識者、市民代表、民間団体、行政機関、事業予定者が一体となり、豊岡道路の計画（みちづくり）について、よりよい計画となるよう、審議して取りまとめる。

委員の役割分担：

- (1) 学識者・・・・・・・・・・専門的立場からの審査
- (2) 市民代表、民間団体・・・・・・・・地元の立場からの審査
- (3) 兵庫県・・・・・・・・関係する幹線道路ネットワークとの調整
- (4) 豊岡市・・・・・・・・関係する街路とまちづくり、コウノトリと共生する地域づくりとの調整
- (5) 事業予定者（国土交通省）・・・豊岡道路の計画に対する考え方と概略ルート（案）の提示

市民参画型道路計画の流れ

